



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願

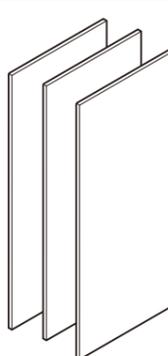
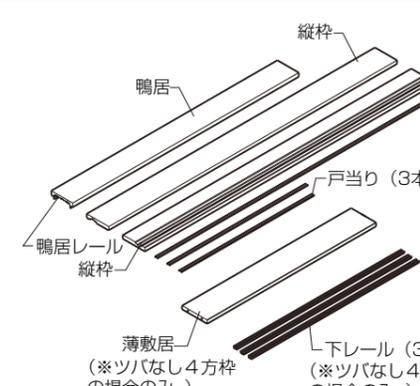
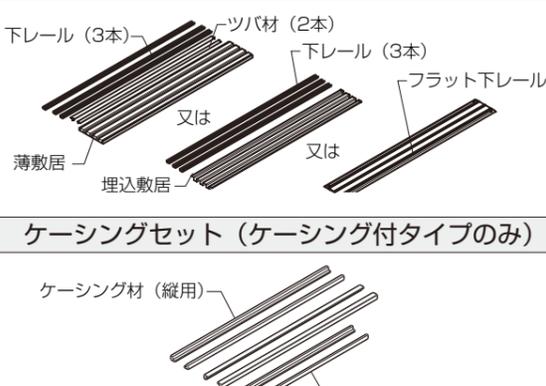
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。但し、叩き込まないようにして下さい。保持力低下の原因となります。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 床材とツバ付薄敷すりのすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。ツバ材の取付けは、ハンマーなどで強くたたき込まないでください。
- 枠は倒れ、傾き、たいこ、つぶみ、ねじれがないように取付けてください。片引枠の場合は、中縦枠の施工にご注意ください。吊込み後、本体とのすき間・干渉の原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- フラット下レールを固定する床（下地）は、段差やすき間がないように仕上げしてからレールを固定してください。フラット下レールや埋込下枠を取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レール/埋込下枠が変形し、本体開閉不具合の原因となります。
- 取付け時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ（ガムテープ、養生テープなど）を長い時間建具表面に直貼りしないでください。テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
- ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。ガイドローラーの破損・変形により、開閉に支障がでるおそれがあります。
- 運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。

■本体保管上のお願

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。  
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
  - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

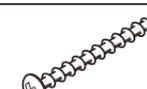
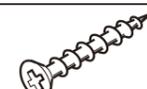
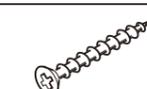
■部材一覧表

※枠はノックダウン、本体は完成品です。

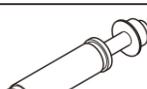
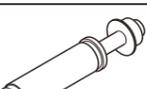
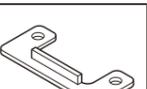
連動方式3枚引戸用本体	連動方式3枚引戸用枠	連動方式3枚引戸用敷居
 1枚梱包X3（本体引手付き、本体中央、本体引手なし 各1枚）	 縦枠 鴨居 戸当り（3本） 鴨居レール 縦枠 薄敷居 下レール（3本） （※ツバなし4方枠の場合のみ。）	 下レール（3本） ツバ材（2本） 下レール（3本） フラット下レール 薄敷居 又は 埋込敷居 又は ケーシングセット（ケーシング付タイプのみ） ケーシング材（縦用） ケーシング材（横用）

■ねじ・部品セット一覧表

■枠用部品セット

姿図					
名称	組立て用 皿小ねじM4X50	鴨居取付け用 トラスタッピンねじ φ4X50	縦枠取付け用 DNビス（皿木ねじ） φ3.8X50	縦枠下部ピース	縦枠下部ピース取付け用皿 タッピンねじ φ4×20
	4	4	6	4	4

■本体用（中本体）

姿図			
名称	ガイドローラー	ガイドローラー （本体中央用）	戸当りプレート
1620	5	2	2
姿図			
名称	戸当りキャップ	ナベ小ねじM4X25 （戸当りキャップ 取付け用）	トラスタッピンねじ φ3.5X20（戸当り プレート取付け用）
1620	2	2	2

■ツバ付薄敷居部品セット

姿図	
名称	ツバ付敷居組立て用 トラスタッピンねじφ4X50
	4

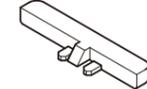
■敷居用部品セット

姿図	
名称	ツバ付敷居組立て用 皿小ねじM4X50
	4

■埋込敷居用部品セット

姿図	
名称	埋込敷居取付け用 ナベタッピンねじφ4X30
	6

■フラット下レール部品セット

姿図		
名称	フラット下レール取付け用 皿タッピンねじ φ4×18	端部ピース
	14	2

※同梱されているスペーサー（1個）は使用しません。

## 開口部の作り方

### 対応壁厚

(単位: mm)

ケーシング付タイプ	対応壁厚	ノンケーシングタイプ	対応壁厚
3枚連動引戸	146~188	NC156	116~130
		NC171	131~145
		NC1180	146~160

### 壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ

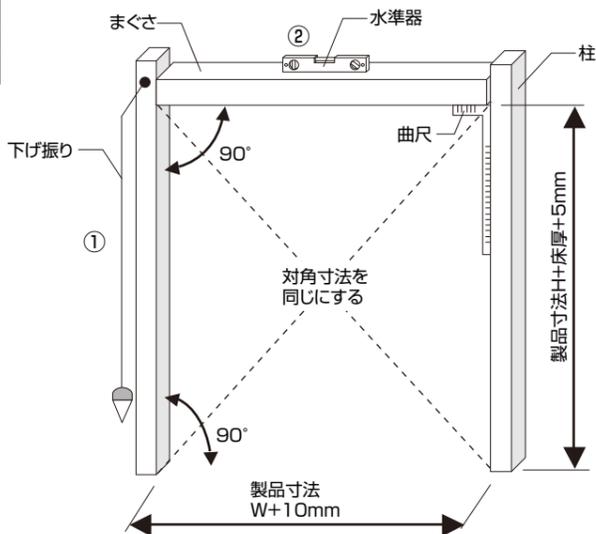
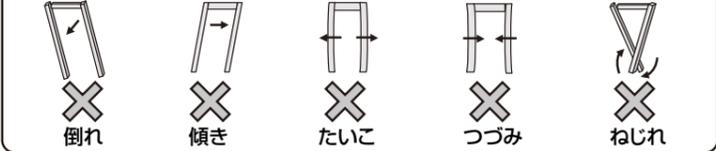
(単位: mm)

連動方式	ケーシング(定寸法)	対応壁厚
3枚引戸	8	146~156
	14	157~168
	19	169~176
	25	177~188

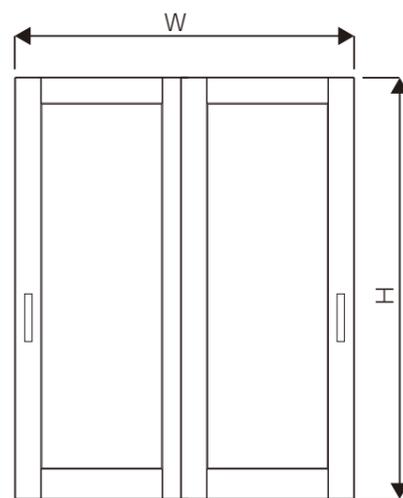
①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。

②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



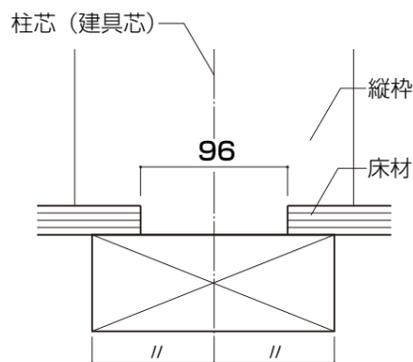
### 製品寸法



## 床の張り方

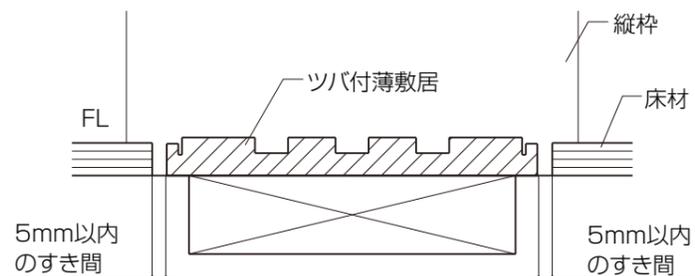
### 【埋込敷居の場合】

※床材は、柱芯(建具芯)を中心に96mmあけて張ってください。



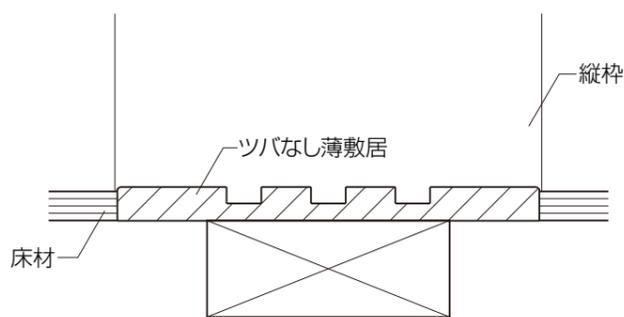
### 【ツバ付薄敷居の場合】

※枠取付け後、下図のように床材を張ってください。



### 【ツバなし薄敷居の場合】

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



### お願い

※床材と薄敷居のすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

## 取付け順序

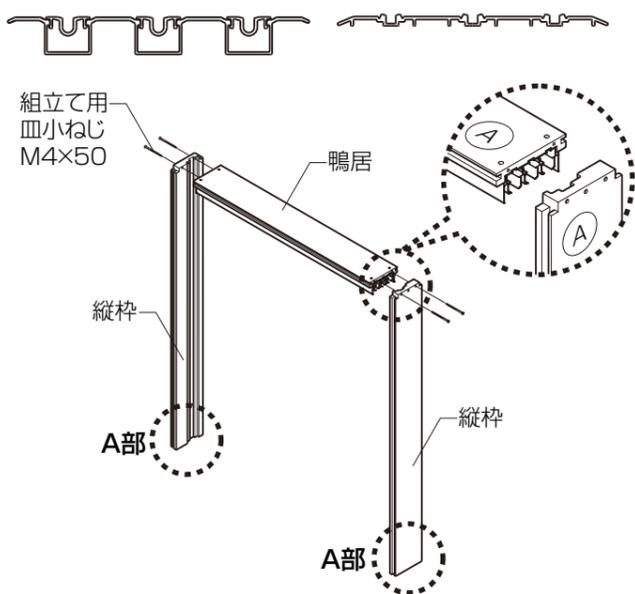
### 1 枠の組立て

#### 【埋込敷居・フラット下レールの場合】

●図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

#### ■埋込敷居

#### ■フラット下レール

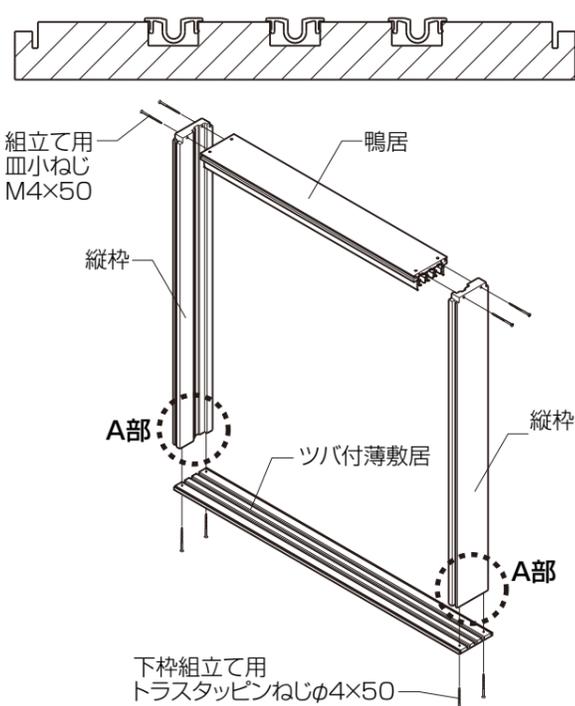


※鴨居と縦枠のマーク(A)を合わせて組立ててください。

#### 【ツバ付薄敷居の場合】

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50、およびトラスタッピンねじφ4×50)で固定します。

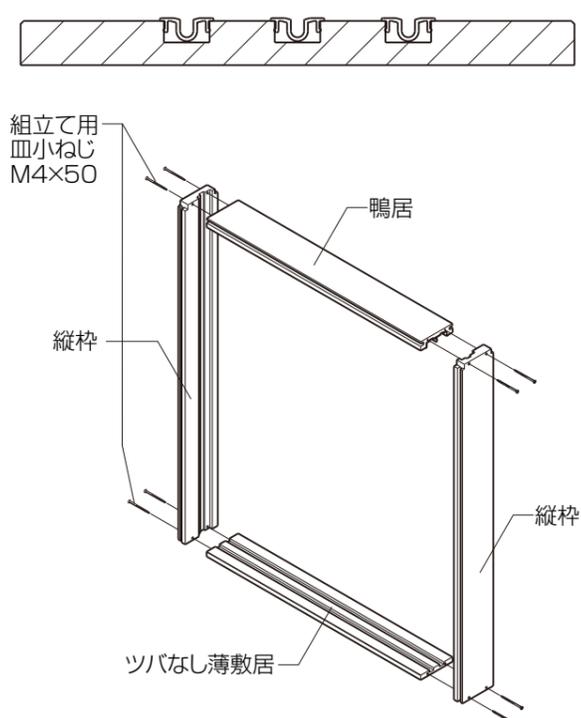
#### ■ツバ付薄敷居



#### 【ツバなし薄敷居の場合】

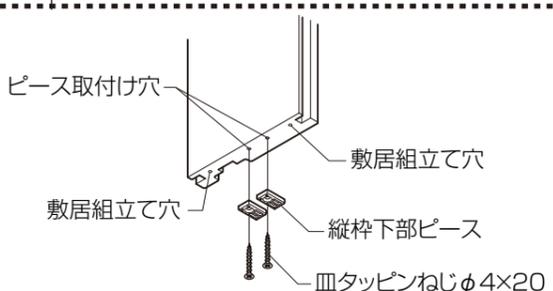
●図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

#### ■ツバなし薄敷居



### ■ A部詳細図

※埋込敷居・ツバ付き薄敷居の場合は両縦枠下部(4箇所)に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。



## 2 枠の取付け

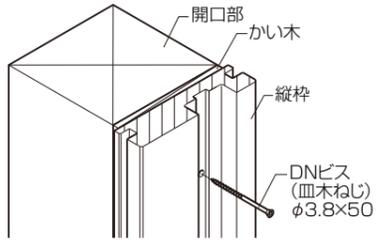
開口部と、縦枠・鴨居との間にかい木を入れて取付けます。

### ●鴨居

※鴨居はトラスタッピン  
ねじφ4×50で固定してください。

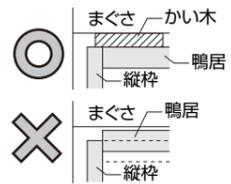
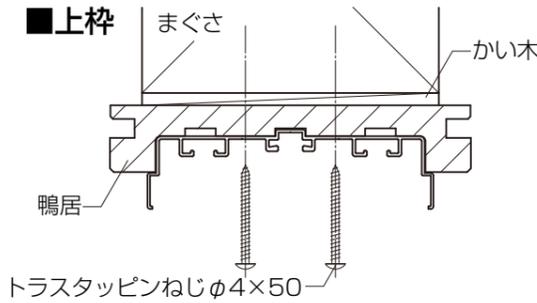
### ●縦枠・小縦枠

※DNビス(皿木ねじ)  
φ3.8×50で固定してください。

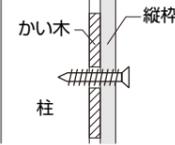


お願い  
※枠の倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。

### ■上枠

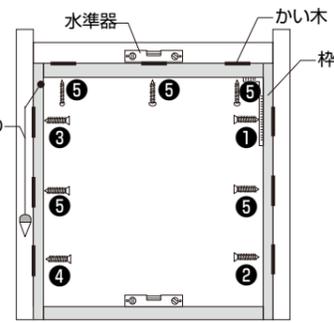


鴨居が持ち上がらないように枠接合部にかい木を入れます。



かい木は100mm以上を使用して木工用ボンドで接着してください。

### 《取付け要領》

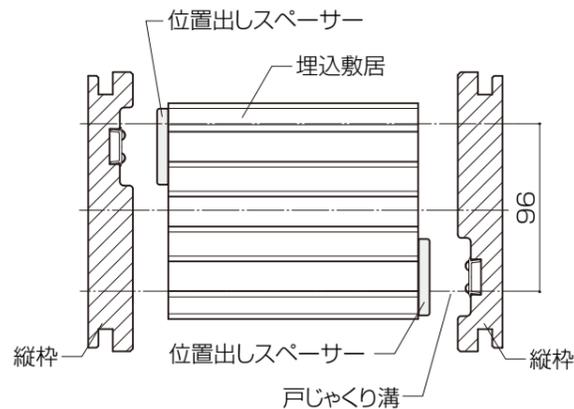


- ① 枠を開口部にはめこんで、敷居・鴨居の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
  - ② 下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
  - ③ 水準器で敷居・鴨居の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
  - ④ 下げ振りを使って垂直・倒れがないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
  - ⑤ 枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。

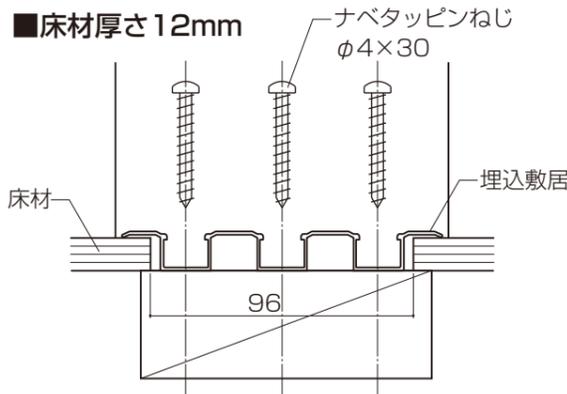
## 〔埋込敷居の取付け〕

①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせ合わせす。

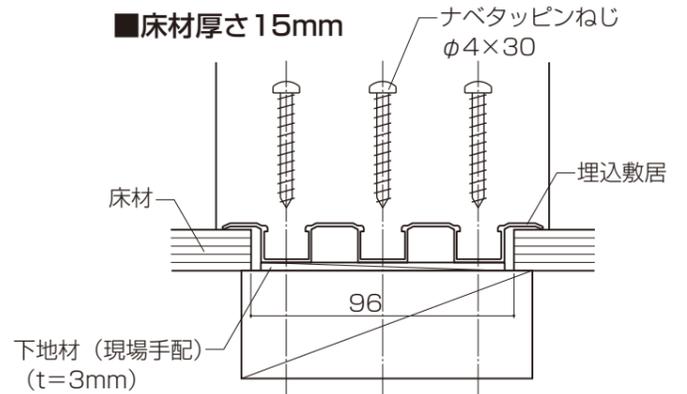
②同梱のねじ(ナベタッピンねじφ4×30)で固定します。



### ■床材厚さ12mm



### ■床材厚さ15mm

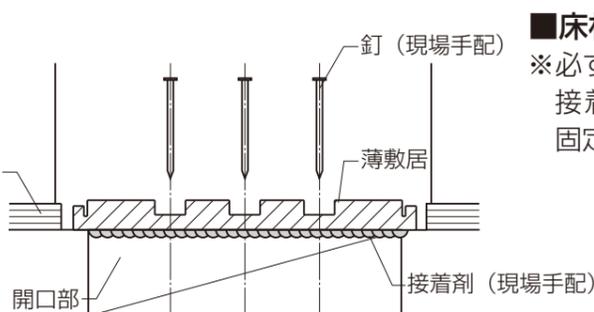


## 〔薄敷居の取付け(ツバ付・ツバなし薄敷居共通)〕

### ■床材厚さ12mm

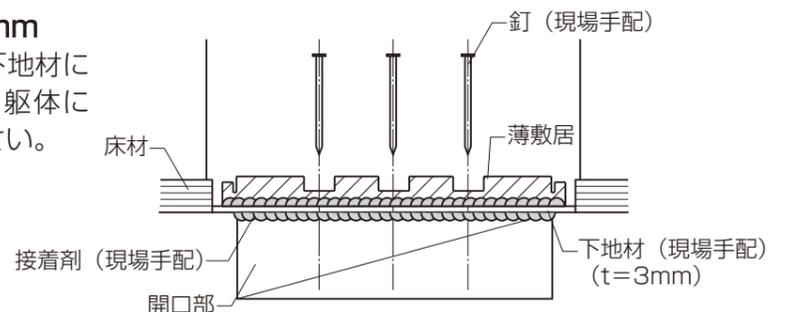
※必ず薄敷居に接着剤を付け、躯体に固定してください。

※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤と併用して取付けてください。



### ■床材厚さ15mm

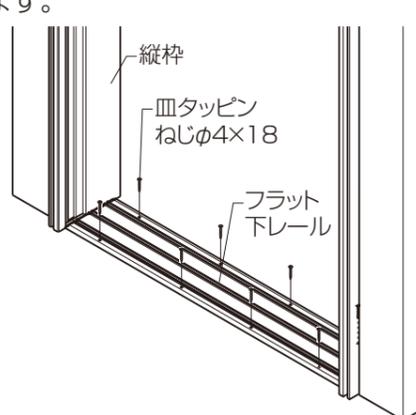
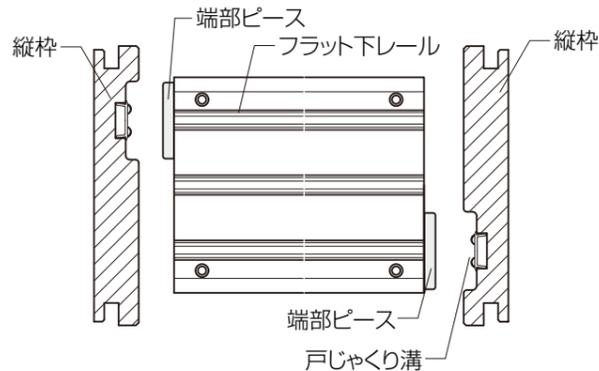
※必ず薄敷居と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



## 〔フラット下レールの取付け〕

①フラット下レールに同梱されている端部ピースを、縦枠戸じゃくり溝側にはめ込みます。

②フラット下レールを縦枠に合わせて仮置きし同梱のねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



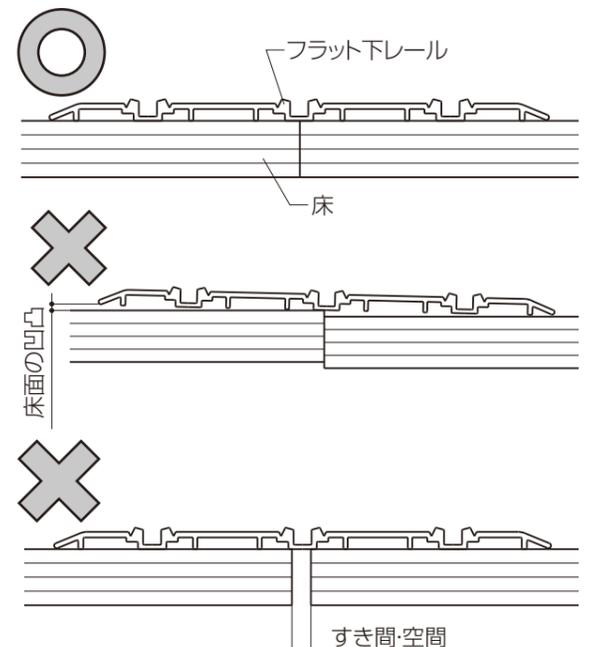
### お願い

※取付けねじを締めすぎないでください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



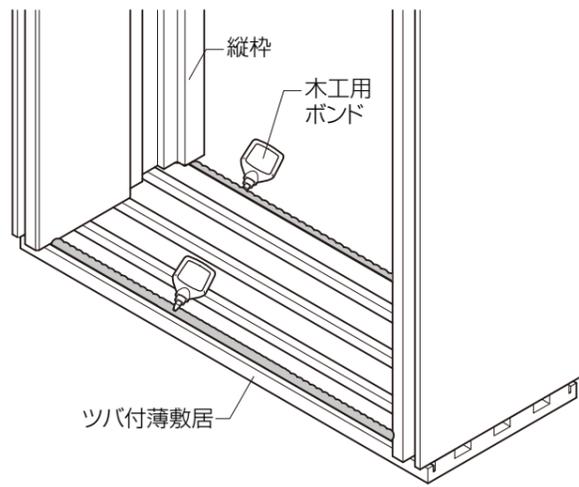
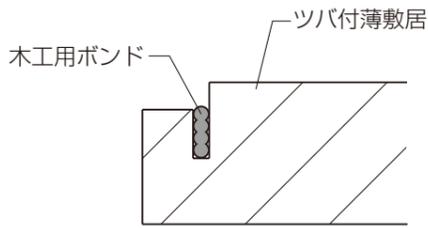
### お願い

※床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからフラット下レールを固定してください。

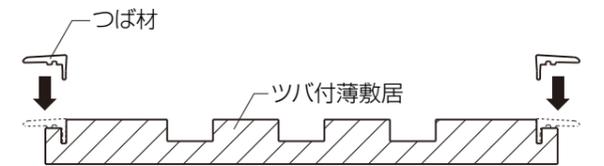
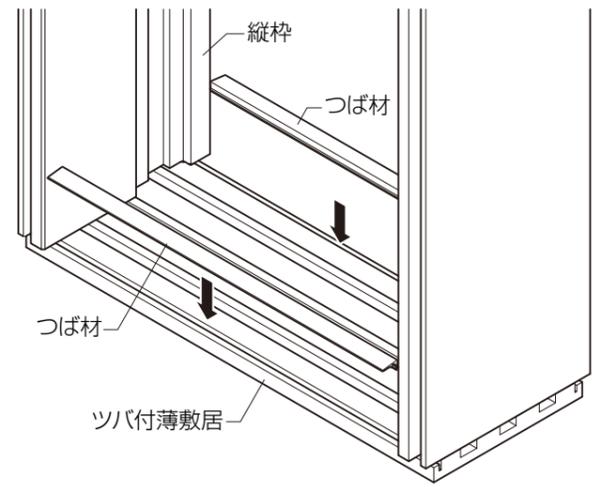


### 3 ツバ材の取付け (ツバ付薄敷居を使用する場合のみ)

- ①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄敷居の溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長にすき間なく塗布してください。



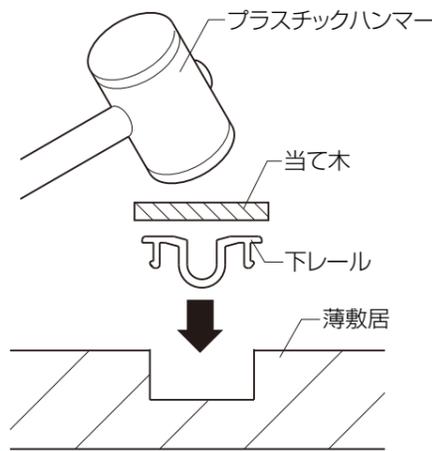
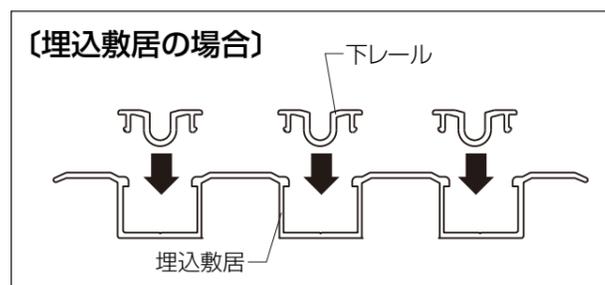
③ツバ材を溝に手ではめこんでください。



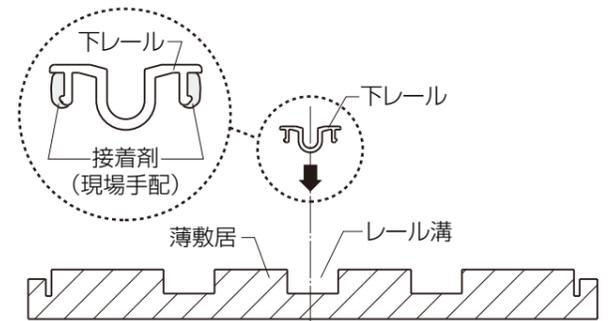
お願い  
※ハンマーなどで強くたたきこまないでください。

### 4 下レールの取付け

- 敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたきこんで固定します。

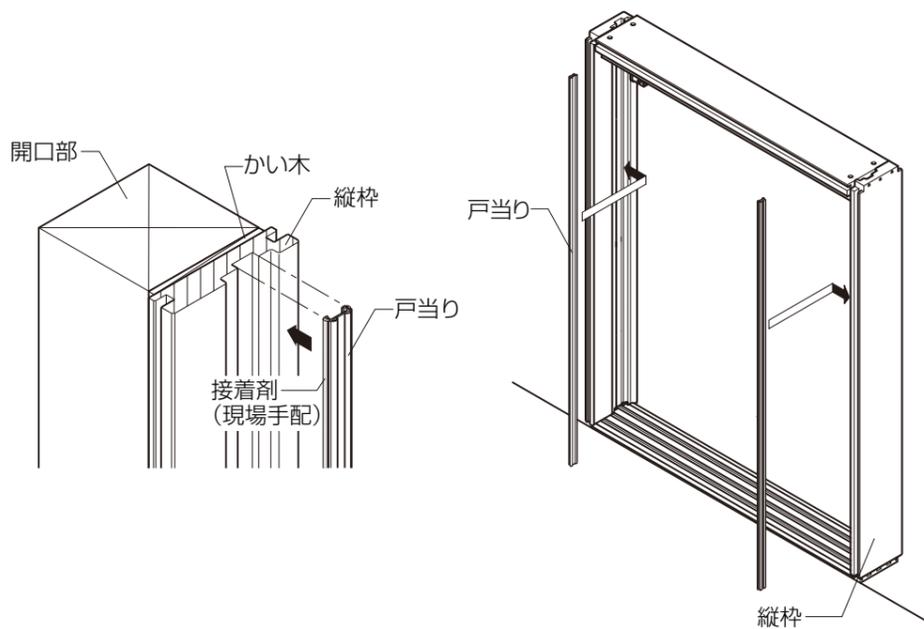


※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合に使用してください。



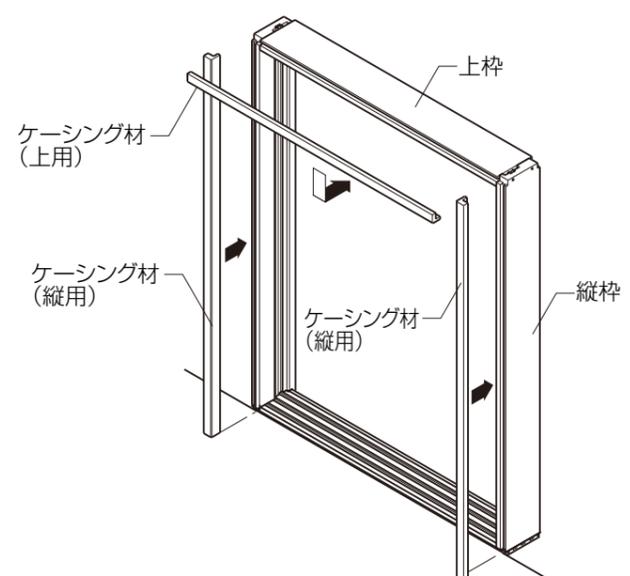
### 5 戸当りの取付け

- 戸当りに接着剤(現場手配)をつけて縦枠を取付けます。
- ※戸当りが長い場合は無理に入れずに必要量を切詰めてください。
- ※戸当りは下レール取付け後に取付けください。



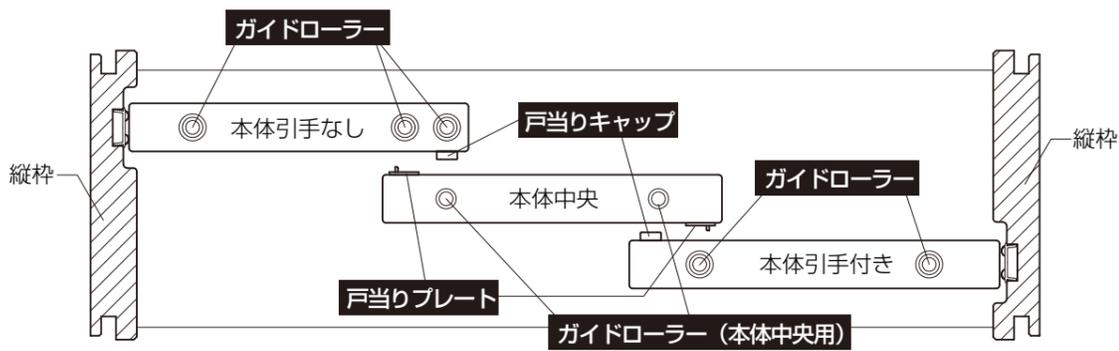
### 6 ケーシング材の取付け (ケーシング付タイプのみ)

- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合せて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は専用かくし釘をご使用ください。

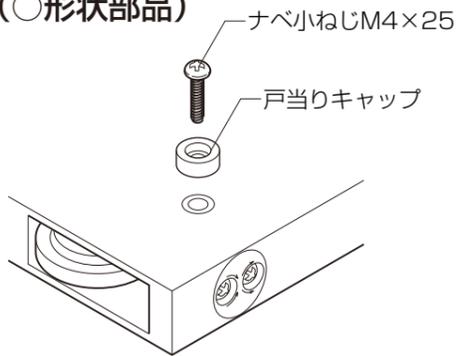


## 7 本体の取付け

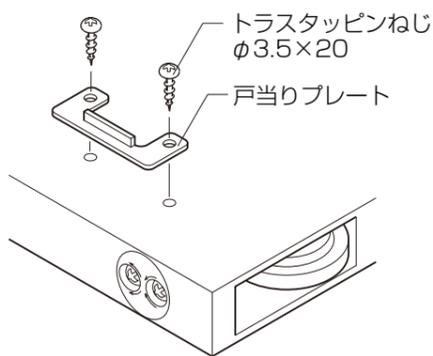
① 本体へ各部品を取付けます。



### ■戸当りキャップの取付け (○形状部品)

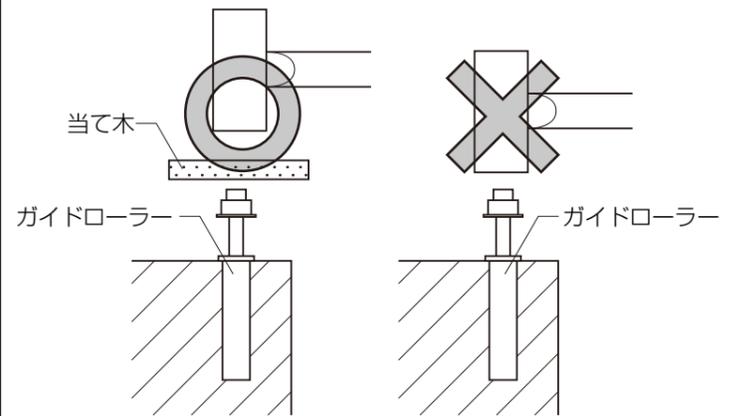


### ■戸当りプレートの取付け (コの字形部品)

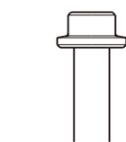


## ■ガイドローラーの取付け

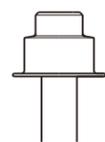
● ガイドローラーを圧入する際、樹脂部に当て木を使用してください。



※ガイドローラーの形状は、本体中央用と本体引手付き、本体引手なしで異なります。



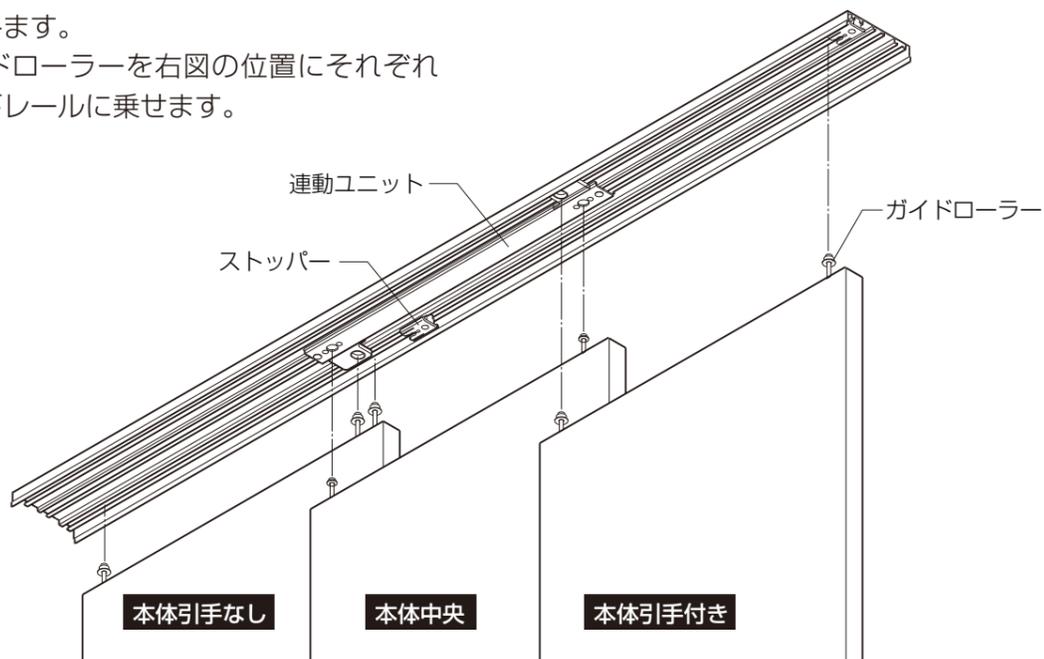
【本体中央用】



【本体引手付き用】  
【本体引手なし用】

② 本体を枠に吊込みます。

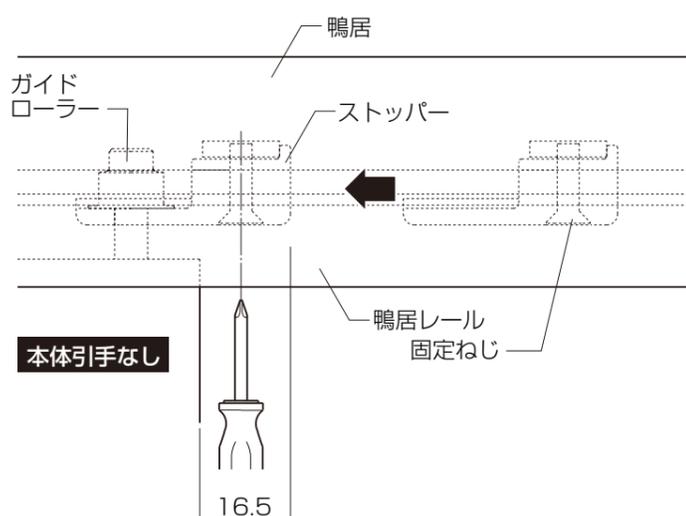
本体上部のガイドローラーを右図の位置にそれぞれ差込み、戸車を下レールに乗せます。



## ■引戸の建付け調整

### ■ストッパーの調整 (本体引手なし側)

- ① ストッパーの固定ねじをゆるめます。
  - ② 下図のように正しい位置にストッパーを動かします。
  - ③ ストッパーの固定ねじを締めてください。
- ※ 本体の高さ調整を行った後に、ストッパーの位置を調整してください。  
※ ガイドローラーがストッパーの正しい位置に納まるようにしてください。

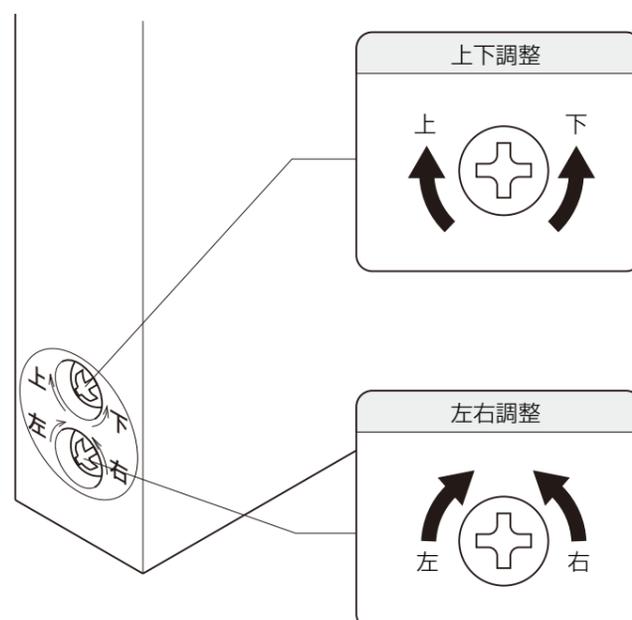


### ■上下調整 (調整幅+4mm、-2mm)

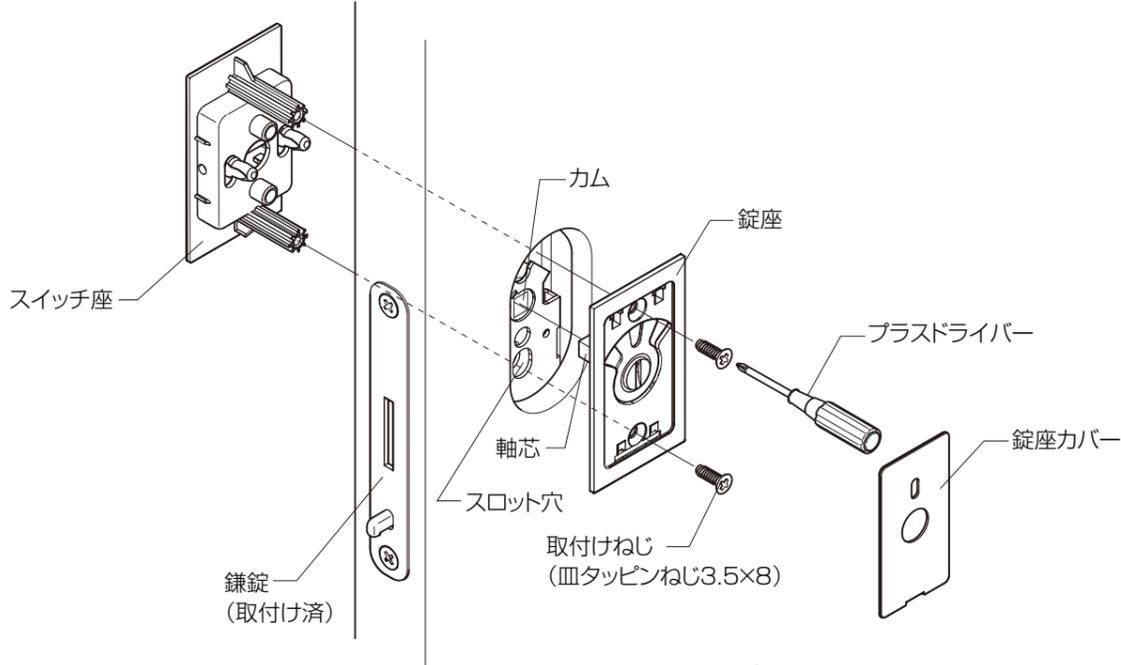
- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

### ■左右調整 (調整幅±2mm)

- 本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ※ 左右調整をする場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。

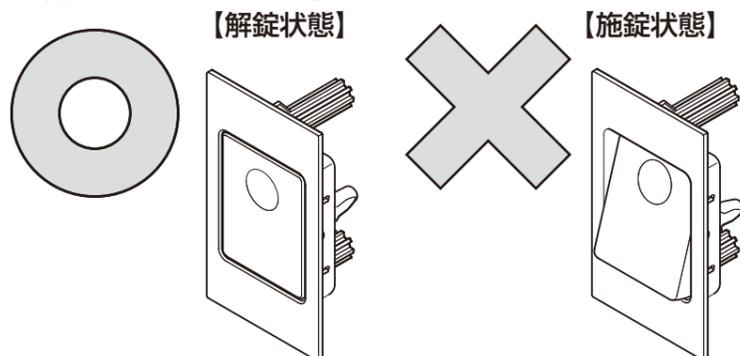


## ■引戸錠の取付け

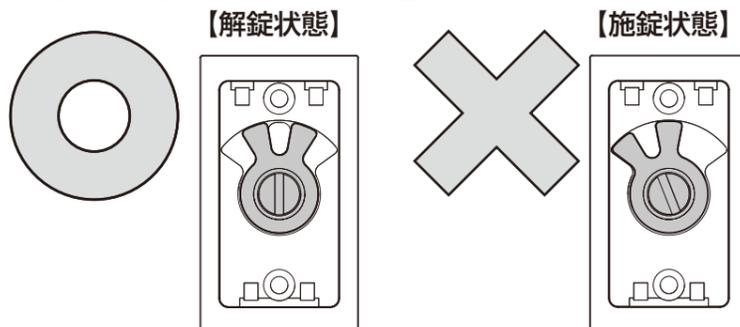


### 【錠の取付け】

①スイッチ座が解錠状態（フラットな状態）になっていることを確認して、スイッチ座を錠座の軸芯に差込んでください。



②スイッチ座の軸心が解錠状態になっていることを確認して、錠座の軸芯を錠座のカムに差込んでください。



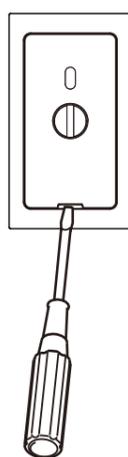
③スイッチ座と錠座を取付けねじで固定してください。

**お願い**  
 ※必ず手回しドライバーでネジを固定してください。  
 ※取付けねじを締め付け過ぎないでください。錠座が反ります。

④錠座カバーを錠座に取付けてください。

### 【錠の取外し】

①錠座カバー下部の切欠き部にマイナスドライバーを差込んで錠座カバーを外してください。

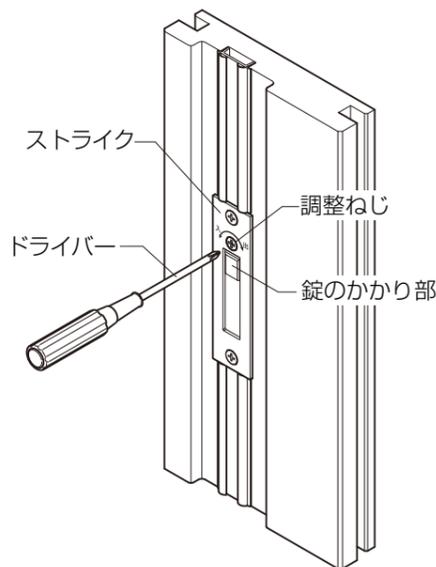


②スイッチ座と錠座の取付けねじを緩めてください。  
 ③錠座とスイッチ座を外してください。

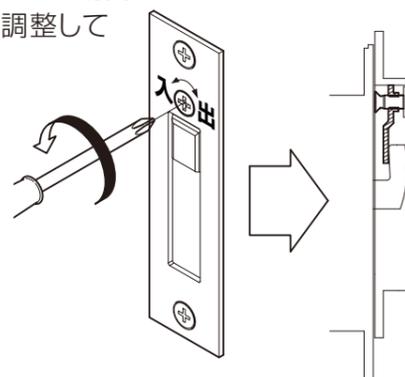
**お願い**  
 ※無理矢理カバーを外さないでください。錠座カバーが破損するおそれがあります。

### 【引戸錠のかかり調整】

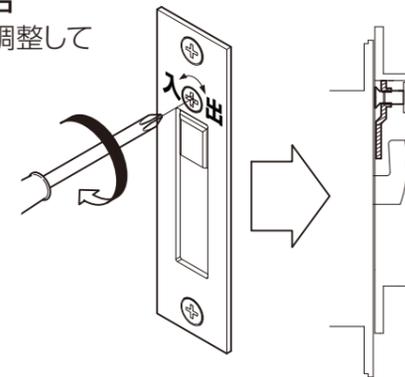
●ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



●本体と枠のすき間が大きい場合  
 調整ねじを左に回して調整してください。



●錠がかかりにくい場合  
 調整ねじを右に回して調整してください。



### ■バーハンドルの取付け

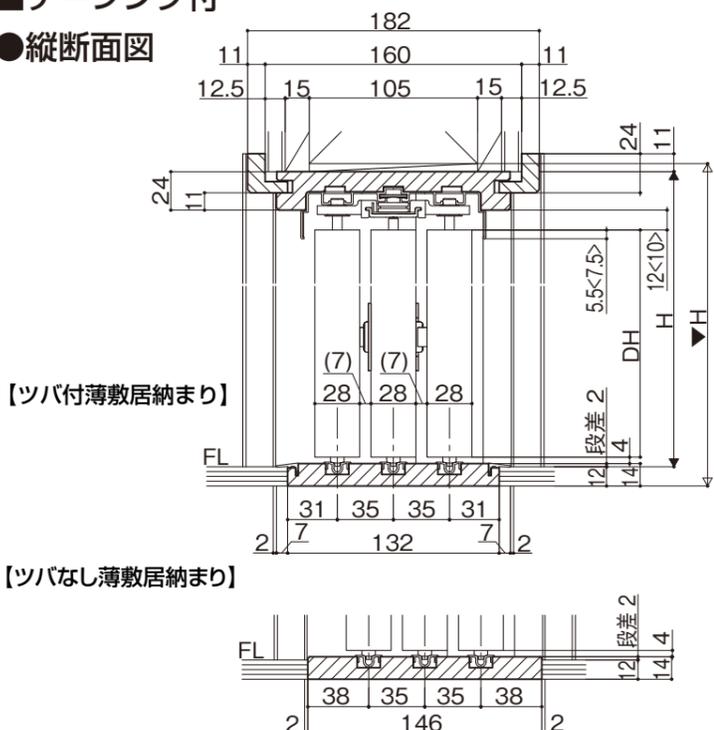
※バーハンドルの取付けについては、別梱のバーハンドルセットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

※連動方式3枚引戸には戸当りストッパー、戸当り受けの取付けは不要です。

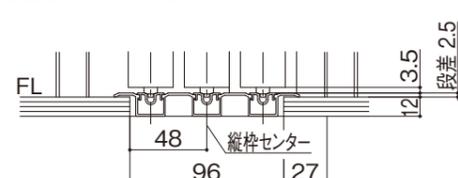
## ■納まり図

### ■ケーシング付

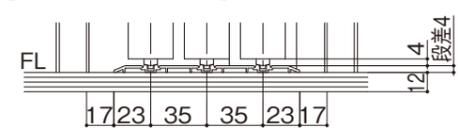
#### ●縦断面図



#### 【埋込敷居納まり】



#### 【フラットレール納まり】



基本寸法 (mm)	W呼称	W16
	W	1644
	H呼称	H20
	H	2023
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	960	1596

#### ●横断面図

